

## 第 29 回馬路おしどりマラソン大会に参加

(株)第一コンサルタンツ  
右城 猛(建設/総合技術監理)  
Ushiro Takeshi



「馬路おしどりマラソン大会」に初めて参加した。毎年9月第3日曜日に開催されている。

馬路村は高知市から65km,車で1.5時間の距離。「ごっくん馬路村」や「ぼん酢しょう油ゆずの村」などのヒット商品を次々に生み出している日本一元気な人口約1000人の小さな村。

今年は29回目。全国から123組,246名が参加した。3キロメートルの部と5キロメートルの部があり,私たちは92組が参加した3キロメートルの部を選んだ。最高齢は夫婦足して155歳。私たちと同じ110歳代が29組で最も多かった。

マラソンのルールは,夫婦で参加して,手をつないでゴールすること。参加費は夫婦で5000円。

10時,上治大会長のピストルの合図で全員が一斉にコミュニティーセンターうまじをスタート。安田川の右岸側の道路を下流側に走り,約1km地点の馬路橋から左岸側の道路に出て,上流側に走って落合橋から再び右岸側の道路へ出てコミュニティーセンターまで引き返す。

いつもの練習はスロージョギングなので,そのペースで走るつもりであったが,無意識のうちにペースを上げすぎたようである。呼吸が乱れて,1km地点を随分と遠く感じた。1km~2kmは坂道になっていたのが胸が苦しくなり,家内の後を遅れないようについて行くのがやっとであった。

沿道の村民の皆さんから声援を受けて元気がでた。落合橋を渡った地点には,私たちを応援するため清岡さん夫妻が待っていてくれた。

私たちは27位の19分38秒でゴールイン。1kmを6分33秒で走った計算。普段は,1kmを8分(4kmを30分)で走っているのだから,この記録に大満足。

10時50分より表彰式。5年連続,10年連続,15年連続,25年連続参加者,第1位,第2位,

中間賞,その他とび賞,最年長者,最年少者,アラスカから参加された方,北海道から参加された方などたくさんの特別賞が用意されていた。

3kmコースで第1位の太田紀亀・芳子さんのタイムは13分43秒。1キロを4分34秒。

夫婦合わせて155歳の寺岡浅一(78)・愛子(77)さん(安芸市)のタイムは28分20秒。この夫婦がすごいのは,タイムもさることながら連続27回参加。夫婦そろって健康で,しかも仲が良くないところの記録は達成できない。素晴らしい。

ゴール後に弁当,ドリンクスーパーごっくん,温泉の入浴券,それに参加賞が入った袋を頂いた。家に帰って袋を開けてビックリ。魚梁瀬杉で作られた高級菓子盆,間伐材のうちわ,コースター,ユズ玉,入浴剤,それにぼん酢しょう油ゆずの村,ごっくん馬路村,柚子ジャム,ゆずゼリー,タオルが入っていた。

馬路村の皆さん,大変お世話になりました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。来年も必ず参加させていただきます。



マラソンへ大会への参加は二人とも初めて。日頃の練習成果をだせるか少々心配。



123 組, 246 名が「コミュニティセンターうまじ」の広場に集合。



家内の前を走って写真を撮る。最初の頃は余裕の走り。



9 時 30 分より開会式。大会会長の上治堂司馬路村長による挨拶に続いて、北海道から参加された高橋正憲・史織夫妻によるとてもユニークな選手宣誓。



衆議院議員の中谷元・美弥子夫妻がゴールイン。中谷先生は 10 月 18 日の室戸岬健康マラソン大会にも参加されるとのこと。



全員で念入りに準備体操



家に帰って参加賞でいただいた袋を開けてビックリ。こんなにたくさん入っていた。魚梁瀬杉の菓子盆は数千円する代物。



中谷元衆議院議員と一緒に記念撮影。奥様の美弥子さんがシャッターを押してくれた。中谷先生は防衛庁長官のときも参加され、その時には SP も付いて一緒に走られたそうである。中谷元先生は馬路村の皆さんから本当に慕われているのだということを感じた。

私が首にかけている金メダルは完走できた証。メダルには「第 29 回馬路おしどりマラソン大会完走賞」と書かれていた。好タイムが出せたのは馬路村の皆さんの心がこもった温かい声援のお陰。



【9月21日朝日新聞】左端が家内の絹枝。私は家内の真後で見えない。右から3人目が中谷衆議院議員。